履　　　歴　　　書（様式１）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 応募分野 |  | 希望する職 |  | 就任可能年月日 | 　　　　年　　月　　日 |
|  |  |  男・女 | 本籍又は国籍 |  |
| 生年月日（年齢） | 　　　　　　　　年　　　月　　　日（採用時満　　　　歳　：　現在満　　　　歳） |
| 連絡先 |  |  現住所 |  |  写 真 |
| 電話番号 |  | 電話番号 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 　　年　　月 | 　　　　　　　　　　　学　　　　　　　　　　　歴 |
|  |  |
| 　　年　　月 | 　　　　　　　　　　　職　　　　　　　　　　　歴 |
|  |  |
| 　　年　　月 | 　　　　　　　　　　　学会及び社会における活動等 |
|  |  |
| 　　年　　月 | 　　　　　　　　　　　賞　　　　　　　　　　　罰 |
|  |  |

　　上記のとおり相違ありません。

　　　　　　　　　年　　　月　　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

（記入上の注意事項）

　１．年月日はすべて、西暦で記入すること。

　２．「希望する職」欄は、教授、准教授、助教、助手等を記入すること。

　３．「本籍又は国籍」欄には、日本国籍の場合は都道府県名を、外国籍の場合は国名を記入すること。

　４．「連絡先」欄には、現住所以外の連絡先を希望する場合に記入すること。記入がある場合には、県立大学事　務局からの連絡は連絡先に行う。

　５．「学歴」欄について

　　①　大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を、すべて記入するこ　　　と。

　　②　大学院博士課程修了と同時に博士号を取得した場合（課程博士）は、「博士課程（後期課程）修了」と記　　　入すること。

　　　　博士の学位を取得している場合には、その年月と授与された機関及び論文名を明記すること。１９９１年　８月以降に博士号を取得した場合は、「博士（○○学、○○大学）」と記入すること。

　６．「職歴」欄について

　　①　現在の職を含め職歴のすべてを記入し、職名、地位等も記入すること。期間を明記すること。

　　②　過去に、大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、同欄に　　　当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、職名及び担当授業科目名（大学院にあっては、判定結果を含む。）を記入すること。

　７．「学歴」欄、「職歴」欄等は、Ａ４判１枚に記入しきれない場合は、適宜欄を広げるか、別紙に記載すること。

（２枚以上になっても構いません。）

研究業績書（様式２）

１　学術論文（査読付き）

２　総説

３　国際会議発表論文（査読付き）

４　著書

５　特許

６　その他

（記入上の注意事項）

　１．記入は、学術論文（査読付き）、総説、国際会議発表論文（査読付き）、著書、特許、その他に区分し、それぞれ年月順（西暦を用い、現在から過去に遡る）に番号を付けて、著書、論文等の名称、単著・共著の別、発行又は発表年月、発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称、概要を記入すること。

　　　学術論文の発表雑誌については、名称の他に、巻、号、頁を記入すること。

　　　なお、概要の記入にあたっては、次の点に留意すること。

　　・　著書、学術論文等の概要について、各著書・学術論文等ごとに簡潔に記入すること。

　　・　共著の場合は、担当部分及び頁数を明記し、また、本人の氏名を含め著者全員の氏名を、当該著書・学術　　　論文等に記載された順に記入すること。

２．特許等については、次のような職務上の実績を記入すること。

　　　例）　・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要

　　　　　　・取得した特許等の概要

　　　　　　・大学との共同研究による研究実績がある場合その概要、成果、当該研究者の役割

　３．その他については、作品、受賞等について記入すること。